

## 【東京新聞・東京中日スポーツ杯争奪◆東京都大会予選】

### 1 確認事項

#### (1) 応援団人数

保護者参観は、チーム関係者であれば、制限はなし。ただし、体調管理・感染対策は、各チームで引き続き行う。

#### (2) 感染対策について

○マスクについては、個人の判断に委ねることとする。(選手・指導者・保護者・役員)

#### (3) 応援について

○以下のものは、ゲーム運営に支障をきたすため禁止とする。(予選・都大会)

- ・太鼓やペットボトルなどの鳴り物(メガホンを叩く道具として使っていれば鳴り物と同じ扱い)
- ・特大メガホン
- ・足踏みを揃えてする応援(応援団)

2 試合開始時刻	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">10月29日</span>	開場 9:00 第1試合プロトコル 開会式終了後15分
	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">11月 3日</span>	開場 9:00 第1試合プロトコル 9:25

### 3 コートでの練習について

- ・フロアでの練習は登録されたベンチ役員と選手のみ。
- ・試合間の練習はボールを使用してもよいが、ネットは使用できない。
- ・壁に向けてのボール打ちは禁止する。

### 4 エントリーの変更について

- ・10月29日の受付時に変更があることを告げ、変更用紙に記入し開会式が始まる前までに提出する。
- ・エントリーの変更により登録できる選手は JVA-MRS 個人登録システムに選手登録していること。
- ・2日目以降はエントリー変更はできない。(ベンチ役員も)
- ・都大会初日、正規の監督が不在の場合はその日に限りコーチおよびマネージャー(成人)が監督の代理をすることができる。  
ただし受付時に競技本部へ代理監督申請を提出する。
- ・監督が途中で不在になった場合、特別な事情がない限り他の者が代理をすることはできない。

## 今大会における競技・審判上の共通注意事項

競技委員長 今泉武志  
審判委員長 及川千春

### 1 入館・受付

- 入館者全員が ID カードを携帯し、首から提げること(大会の周知事項を認識しているという証明・不審者対策)
- 持参物→チーム名板(A4・得点板掲示用、各チームが準備し管理する。)

- ・監督やチーム代表者がチーム受付を行う。

## 2 帯同役員

- ・各チーム帯同役員を決めておくこと

【競技】試合当日、チーム入館時に入場し、コート設営等を手伝う。

【審判】チームが審判の担当の際には、ファーストレフェリー・セカンドレフェリー・スコアラーもしくはスコアラーの補助（ボール拭き等）を行う。試合終了後には役員の指示により片付け作業を手伝う。

## 3 補助役員

- ・第一試合の補助役員は第三試合のチームが行う。その後は敗者チームが次の試合の補助役員を行う。
- ・各チームはラインジャッジフラッグを用意し補助役員時に使うこと。
- ・補助役員（ラインジャッジ・点示）にあたる際は飲料水（ペットボトル不可）を持参し、セット間等に水分補給を行うこと。

## 4 服装について

- ・ベンチ役員は統一されていること。（Tシャツ・短パンは認めない。）

ただし、子どもがベンチスタッフの場合の格好は、他のベンチスタッフと異なってもよい。

- ・監督、コーチ、マネージャー章は必ず左胸に着用する
- ・選手の服装はルールに準ずる

## 5 試合時の行動

- テクニカルタイムアウトは、11点（3セット目 8点）

デュースの際は、両チームが25点（3セット目は21点）になったときに適応。以降は、両チームが7点おきにとる。

- 選手の荷物は、個別にしなくてもよい。

- ベンチでのうちわの使用はタイムアウト・テクニカルタイムアウト・セット間のみとする。

- ・選手は試合中、ワイピングタオルをコート内の選手が1名以上持ち、汗等で濡れた床を拭くこと。

- ・ベンチは3脚のみとし、控え選手はウォーミングアップエリアで待機すること。

- ・テクニカルタイムアウト（TTO）は健康管理のためのタイムアウトとする。選手はベンチの外側の端に位置する。

ベンチスタッフは給水ができるように準備をする。※給水を行なうか否かの判断は選手本人の意思による。

スタッフが選手に話しかけるときは、ベンチスタッフ自身が規定の位置に移動する。

TTO 中はベンチスタッフがモップをかけることができる。（選手は行わない。TOは可能。）

- ・各セット終了時、コート内の選手はエンドラインに整列後、コートチェンジを行い、控え選手とベンチスタッフはチームの荷物を持ちコートチェンジを行う。

- 試合前後の挨拶

- ・試合開始時・・・選手はアタックラインに行き、挨拶を行う。

- ・試合終了時・・・選手はアタックラインまで行き、お互いに拍手をする。

※ファーストレフェリーは、拍手終了の合図をする。（ハンドシグナルや声かけ等）

## 6 会場での行動

- ・公共施設や学校などの御厚意でお借りしている場所であることをわきまえ使用上の注意を十分に守ること。

- ・選手の着替えは各会場で定められた更衣室を使用し、保護者が必ず付き添うこと。

- ・各チームの横断幕の掲出は試合時のみとする。

## 7 その他

- ・試合が連続する場合もしくは補助役員担当後に試合がある場合には、試合間を最大 15 分空けることができる。
- ・選手やベンチ役員の飲料水は吸引式のボトルとする。
- 大会当日については当日の会場責任者の指示に従ってください。
- 感染症対策については今後の状況により、変更の可能性もあります。
- ・選手やベンチ役員の飲料水は吸引式のボトルとする。個人所用のケースに飲料水やタオル等を入れ、衛生管理を十分に行うようにする。
- ・選手の着替えは各会場で決められた更衣室で行う。その際には保護者が必ず付きそう。
- ・体育館使用に際してはお借りしているということを忘れず、使用上の注意を十分に守る。
- ・試合の状況により、コートの変更もある。
- ・うちわの使用はタイムアウト・テクニカルタイムアウト・セット間のみとする。
- ・各チームの横断幕掲載については、会場の競技委員の指示に従うこと。
  - ・チーム名板(得点版表記)は A4 サイズで各チームが準備し管理する。
  - ・最終試合チームや補助役員チームは会場の片づけの協力をする。

**体育館使用に際してはお借りしているということを忘れず、使用上の注意を厳守しましょう。**

**お互いが気持ちよく試合ができるように、協力しましょう。**